



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 (内線1406) FAX.025-526-6114

ホームページ⇒

ふるさと上越



上越市在住 松本栄規さん撮影

「たより」No.271 目次

会員数とふるさと市場報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
とれたて上越コーナー	3
・上越の行事・展示会	
・上越の話題	
ミス・グランド日本代表は、佐治瑠璃さん	
チャレンジ上越	6
・フルサトで始めたフルサットの話 (その3)	
北信越地域資源研究所 代表取締役 平原 匡氏	
上越産品販売のお知らせ	7
「上越を語ろう」	8
鯉橋師匠高座予定	8
Jネットからのお知らせとお願い	8

※ホームページ「ふるさと上越ネットワーク」では、「たより」を全ページカラーでご覧いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は現在 596 名です。(令和3年度目標 610名)

(2) 「ふるさと市場」(5.6月合計)の販売状況 159点 ¥210,119 (前年同期 48点 ¥75,849)

Jネットの活動のお知らせ

1. 令和3年度定時総会の表決報告

令和3年度定時総会は、コロナ禍により、書面決議の方法により行なわれました。期限の6月24日までに投函された葉書による表決個数は121個です。全ては賛成ないし議長への委任で、反対は0個でした。未投函の議長委任票と合せて、全議案は承認されました。

お葉書には、Jネットへのたくさんの激励、応援のお言葉をいただき、まことにありがとうございました。

2. 文化講演会とサロンを開催

7月8日(木)午後5時より、オンラインながら、Jネット文化講演会ならびにサロンを開催しました。講演会では、瀧澤康二当会会員(東京板倉会名誉会長、国際体操連盟名誉副会長)から、「オリンピック、パラリンピック運動とは」という時宜を得た演題でご講演いただきました。

「スポーツは文化」に加えて「オリ・パラ教育」にもふれ、動物としての人間の本性と古代ギリシャのオリンピック精神にまで遡り、オリンピックの本質を語っていただきました。「五輪マークの覚え方は『青黄屋さんは黒字、緑屋さんは赤字』と洒落も入り、大好評。「腹の腑に落ちるような話で、オリンピックの見方が変わった」とは出席者の率直な言葉です。

講演会後のサロンも、瀧澤様を囲んで、各自で入手した上越のお酒などを美味しくいただきながら、午後7時まで大いに盛り上がりました。

講演資料が欲しいとの声もかなりあり、瀧澤様のご厚意で配布いたしております。ご希望の方は、事務局宮里までご連絡ください。



2021.7.8(木)講演会に参加のみなさん
この他に3名の方にご参加いただきました。

3. 次回の8月サロンのお知らせ

令和3年8月12日(第2木曜日)17:30-19:00 オンラインで開催

お申込みは、事務局宮里 k.miyazato@araipt.co.jp まで。URLをお届けします。

オンラインでのJネットサロンも恒例となりました。クリック1回で参加できます。

未体験の方も是非、ご参加ください。事前に操作方法もお手伝いします。

同封の「ZOOM オンラインサロンに参加しませんか?」もぜひご覧ください。

4. ホームページ（HP）

JネットHPは、上越のカラフルで大きな写真18枚、当会からのお知らせや「たより」、関連サイトへのリンクなどが見やすく好評です。ぜひとも、ネットにて、「ふるさと上越ネットワーク」、または <https://joetsu.gr.jp/> を検索してご覧ください。「とれたて上越」「なんでも上越」のコーナーには、皆様からお寄せいただいた情報とともに送りいただいた写真を掲載することもできます。

会員限定サービスとして、上越タイムス電子版閲覧に加えて、4月末から、上越ケーブルビジョン社（JCV）様のご好意により同社の動画サービスの提供が始まりました。上越妙高エリアの今をお楽しみください。

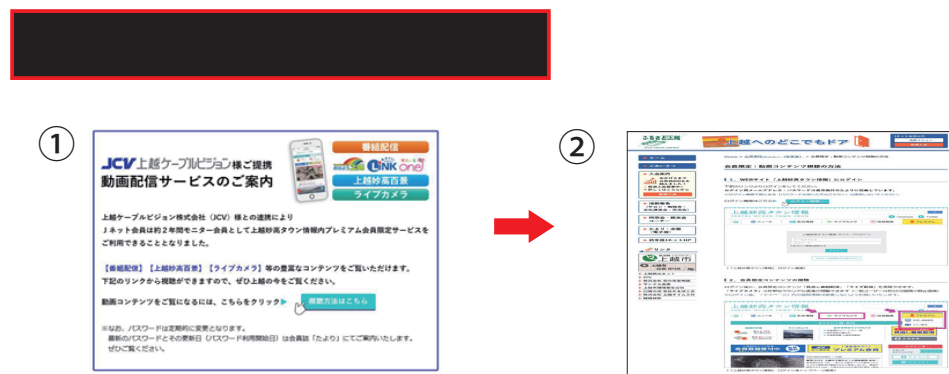
(1) 上越タイムス電子版へのアクセス

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックしHPへ
- ③ 下記のID・PSWにてログインしてください



(2) 上越ケーブルビジョン動画へのアクセス

- ① HP右肩「Jネット会会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックしHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・PSWにてログインしてください



とれたて上越コーナー

1. 上越の行事・展示会

(1) 第42回高田城址公園観蓮会—東洋一の蓮花群

開催：高田城址公園にて、8月22日（日）まで。

催しや物産展などは中止ですが、はすウォッチング（8月7日）や高田本町商店街による花や小物を浮かべた水鉢を並べての涼しさを演出します。



(2) なおえつ うみまちアート

開催期間：8月1日（日）～9月26日（日）

直江津を舞台に「未来への交感」をヴィジョン、「うみ／まち／ひと」をテーマとして開催します。参加アーティストや展示会場など、詳細は公式ホームページ <https://artseasidenaoetsu.jp/> をご覧ください。

(3) 第96回 謙信公祭

令和3年8月21日（土）・22日（日）。出陣行列、川中島合戦再現など中止。

春日山神社祭典、狼煙上げ、武禊式、武道披露などを実施。

(4) 企画展

① 「生誕90年 岩野勇三彫刻展 人間へのまなざし」

開催：小林古径記念美術館（本城町）9月20日（月）まで。

高田城址公園「岩野勇三ブロンズコーナー」に展開する10点のブロンズで馴染み深い岩野勇三。

上越に生れ、人間を内面から見つめ続けて、現代彫刻の一翼を担った、作家展です。

② 「レルヒ少佐と高田の友人たち」

開催：上越市立歴史博物館（本城町）にて、9月5日（日）まで。

我が国にスキーを伝えたレルヒ少佐。そのゆかりの品々や約1年間の高田滞在で知り合った友人たちとの交流の資料を展示しています。

(5) 「上越観光 Navi」が大変充実しました！

詳しくは <https://joetsukankonavi.jp/> をご覧ください。

2. 上越の話題

ミス・グランド日本代表は、上越市の神職、佐治瑠璃さん

われらがふるさと上越に、また一人、魅力あふれる、頼もしい若手が現れた。上越市生まれの佐治瑠璃さん（27歳）です。

世の中のミスコンテストは、いわゆる美人コンテストから商品や地域アピールなどまで千差万別です。

ミス・グランド・ジャパンは、美しさだけでなく、生涯を通して経済界でも活躍できる女性の社会進出や社会貢献を重要なテーマとし、世界最大規模のミスコンテストとして日本のメディアでも紹介された「Miss Grand International 2020」世界大会に出場しています。

そのコンテストで、瑠璃さんは、見事「ミス・グランド・ジャパン 2020」グランプリ（日本代表）、そして、本年3月タイ（バンコク）で開催された、「Miss Grand International 2020」世界大会で『ナショナルコスチューム賞』の栄誉に輝きました。

本年3月、大学院を卒業し、1300年続く、圓田（えんた）神社（柿崎区）・胞姫（よなひめ）神社（柏崎市）にて、神職・権禰宜（ごんねぎ）の職に就いています。

このほど、当会会員の伝手にて、当会のインタビューに応じていただきました。

ーミス・グランド日本大会優勝、世界大会部門賞獲得、おめでとうございます。当コンテスト応募のきっかけは？

ありがとうございます。ミスコンテストへの関心はあったのですが、大学や留学を通じて学んだ社会貢献や生き方をテーマとする、このミス・グランドに興味がありました。



佐治瑠璃さん
<ミス・グランド・ジャパン様ご提供>

一ご自身では、日本代表に選ばれた理由は、どの点にあったと思われますか？

自己表現力でしょうか。しっかりと自分と向き合うことが大切です。母方の実家が神社で、私も神職を目指すということ、その生い立ちのユニークさが強みになったのではないのでしょうか。

一上越で育ち、この3月までは、東京とうかがいましたが。

母方の柿崎と父方の高田と半々で過ごしました。高田高校を卒業し、日本大学法学部に進み、その後、国学院大大学院で神道学を学びました。日本の伝統文化を学ぶ一方で、海外留学も経験し、社会貢献についても学びました。

一その留学でも大きな収穫があったのですね。

はい。ロンドン・オリンピックの年に、英国ケンブリッジ大学に行き、アートを勉強し、その後、デンマークのオーフス大学でビジネスを学びました。社会的視野が大きく広がり、社会貢献について考える契機となりました。

一どのように心がけたら、瑠璃さんのようになれるのでしょうか？

神社育ちは別としても、私は、祖父も父も音楽好きという家庭で、幼い頃からクラシックバレエを習い、体を動かすことが好きです。今でもスポーツジムに通っています。食事、睡眠、運動のバランスが大事だと思います。それに、家族が仲良しであることも大切なことです。

一「粧は輝く肌の美人を創る」はある上越発酵研究者の説ですが、発酵の町上越の発酵食品はお好きですか？

はい。お味噌もお酒も大好きですよ。子供の頃から甘酒をいただいていますし、岩の原ワインも家族揃って、楽しんでいます。

一当会Jネットへのメッセージもお願いできますか？

たくさんの応援、ありがとうございました。
帰る故郷があるというのは幸せなことです。
コロナ禍ですが、上越ともお互いに手を取り合って、毎日を大切に過ごされますよう、祈っております。



佐治瑠璃さん
<ミス・グランド・ジャパン様ご提供>

インタビューを通じて、しっかりと張った根を持ち、積極的に生きる瑠璃さんの姿勢に強い印象を受けました。外部からのメッセージを受け止める力も高く、リーダーの資質が感じられます。文字通り内面も外面も素晴らしい女性で、頼もしい限りです。今後のご活躍が大いに楽しみです。

上越の未来に向かってチャレンジする上越人を紹介します

ふるさと上越市ではさまざまな分野で、新しいチャレンジが始まっています。まだ成果は十分とは言えませんが、新カルチャー創生とも相俟って、上越の将来が楽しみです。

そうしたチャレンジャーの一人である平原匡氏から、「フルサット」を、2号連続で、徒手空拳のスタートと奮闘を寄稿していただきましたが、今号では、その最終回として、思い込めた「フルサット」の可能性を力強く、語っていただきます。



平原 匡 社長

フルサットで始めたフルサットの話（その3）

―チャレンジの場としての「フルサット」

北信越地域資源研究所 代表取締役 平原 匡（ただし）



今年で6年目に入ったフルサットは現在、カフェ、レストラン、居酒屋に加え、起業家、IT事業者のオフィスなど異業種が同居し、駅前コンテナタウンを形成しています。

また、昨年始めた「フルサットアップス」では、起業・創業の無料相談、セミナーなどを随時開催。東京から2時間、UIターン起業、拠点移転の相談を受ける窓口を開設しています。

フルサットというプロジェクトは、想定通り、想定外の事項、まだまだこれからの未知の事項など入り乱れていて、正解のない長い道のりの中にいます。

フルサットがある上越妙高駅は上越妙高エリアのヘソです。海と山の両取りが出来る、高速道路と高速鉄道の両方の便に恵まれており、これから北陸新幹線が西へ西へと伸びて行き、新潟県の玄関、日本海に面した駅として、存在感が増すことが予想出来ます。

直江津港という港、世界遺産を目指す佐渡への航路、インバウンドでの伸び代があるスノーカントリーリゾートである妙高エリア、信越道という高速道路インフラを含めて、交通、情報のハブとしての特性を柱に、北陸の要、関西と関東の繋ぎ役を意識した企業シフト、それに長野との距離感の短縮を実感し、北信とのネットワークもより深くなることでしょう。

その際にこのエリアが首都圏そのままの縮小版としたくはありません。都市開発が進み、いわゆる「賑わい」が生まれることは願いではありますが、せっかくの好環境を考えた時に、都市部と同じ景観、文化である必要はなく、都市部のエネルギーを一部吸収することで、コンパクトながら各分野の先端コンテンツが集まる「ローカルイノベーションタウン」を目指すという方向性こそが重要と考えています。首都圏からの拠点シフトでチャレンジ出来る「ローカルニューフロンティアエリア」でありたいのです。

そんな可能性のある上越妙高駅前にあるフルサットは、これからは見据えた、余白一杯のプロジェクトです。

上越妙高駅周辺の土地の利用方針、用途が決まりつつあるといっても、それは一時的な利用が決まっただけと考えるべきです。たとえ、ビルが立ち並んでも、今のままならどういう形にも、思いを詰め直すことも、加えることも出来ます。

ゼロからの前例のないプロジェクトであるとともに、恵まれた上越妙高駅前の環境を次世代に繋ぎたいという思いで、私はフルサットプロジェクトに注力してきました。



雁木下の往来

上越妙高駅が出来たことによる余白を埋めるつもりだったフルサットは、実は進む開発の中で「可能性ある余白」としてあり続ける。その余地はまだあります。

まずは10年、20年、30年後に向け、トライを続ける。ゼロの状態から始めて、フルサットは「1」を作りました。少し成長のスピードにムラがあったかもしれませんが、コンテンツを集め、確実にコンテナタウンは成長しています。さらに皆様には、思いを込めて、「フルサットの余白」の活用にお力添え頂きたいと願っています。

私事ですが4年前に大動脈解離で倒れましたが、九死に一生を得て、現場復帰が出来ました。ご心配をお掛けした皆様への感謝を込めて、この度の寄稿をさせて頂きました。3回にわたりご覧下さり、まことにありがとうございました。



フルサットの全景ー未来への可能性を詰めて

上越産品販売のお知らせ

- Jネットふるさと市場として「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A3版1枚）を同封にてお届けします。会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

- 上越特産市場

上越市運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からご覧いただき、お申込み下さい。

- 「新潟・上越妙高うまさ直送！
雪国マルシェ」
恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は、下記にて予定しています。
日時 8月28日（土）、同29日（日）
9月25日（土）、同26日（日）
10月23日（土）、同24日（日）
会場 有楽町 交通会館1F。
開業時間 11：30 - 17：30

- 常設店舗 「雪国商店」
場所 有楽町交通会館1F。
営業時間 11：00 - 19：00 年中無休
(年未年始は休業)
ネットで「雪国商店」を検索してご覧ください。
☆お問い合わせ先：JCV 東京情報センター
03 (5218) 7730

「上越市を語ろう」—皆様の手で上越市の魅力を発信

当会HPでも会員以外の閲覧も多く、上越に関心や興味をお持ちの方は大勢おられます。

ところが、上越は意外と知られていないのが現実です。

上越線の走る上越との混同もしばしば、ましてや、当上越市の面積が東京23区の1.5倍、上越・北陸の両新幹線が利用でき、東京から2時間の距離であること、歴史と豊かな文化、海と山に恵まれ、食事やお酒がとびっきり旨いことなどは、あまり知られていません。これでは、観光や産業の誘致、移住のお勧めもできません。

そこで、上越応援団たる会員の皆様をお願いします。広宣の最も強力な手段「口コミ」を活用し、リモートを含むお集まりの際には、ひと言、上越にふれていただきたいのです。ご自身の情報、上越市や当会の資料などをご利用され、上越市の大使となってください。

よろしく願いいたします。

瀧川鯉橋師匠 出演予定

鯉橋：03-3845-1202

◇ 8/11(水)～20(金) 新宿末廣亭、夜の部
時 間：午後4時半～8時半ごろ。鯉橋は5時15分ごろの出番。
木戸銭：3000円(65才以上2700円)

主 任：古今亭今輔。ほかに伯山、ねづっち、など出演。

お問合せ：03-3351-2974(末廣亭)

◇ 8/11(水)～20(金) 池袋演芸場、昼の部
※鯉橋は交互出演のため、上記日程のうち3日間出演

(出演日未定) 時 間：午後0時半～4時15分
木戸銭：3000円 主 任：瀧川鯉昇。ほかに歌春、東京ボーイズなど出演。お問合せ：03-3971-4545(池袋演芸場)

◇ 8/24(火) 鯉橋の会 in 日本橋亭 vol.15

時 間：午後6時～8時ごろ。

木戸銭：2000円(前売・予約1500円)

出 演：鯉橋(二席)、ほか出演者未定。会 場：お江戸日本橋亭(三越前) 問合せ：03-5909-3080(芸協)

◇ 8/30(月) 上野広小路亭

鯉昇一門会～その十六～

時 間：午後6時～8時半ごろ

木戸銭：2500円(前売2000円)

出 演：はち水鯉、鯉舟、鯉昇—お仲入り—鯉三郎、鯉橋(出演順)

お問合せ：03-3833-1789(上野広小路)

◇ 9/12(日) 「梶原いろは亭」からライブ配信の落語会

鯉橋、小助六、夢丸。お昼ごろ。

会 場：お江戸両国亭(両国)

皆様、どうぞお気をつけて
お過ごしくださいますよう。

瀧川鯉橋拝

●●●●●●●●●● ネットからのお知らせとお願い ●●●●●●●●●●

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

会員の皆様には、ぜひとも、ご自分の経験、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事(1200字程度まで)と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読み手を元気にします。

送信先：k.miyazato@araipt.co.jp

コロナ禍の折、皆様には、くれぐれもご健康にご留意され、お過ごしくください。



上越おもてなし武将隊2021.6月 松本栄規さん撮影
(当日景勝はお出かけ中のためまたのご登場をお楽しみに！)

◎次号「たより」は令和3年8月25日の発行です。

桑山有紀様の「エドウィン・ダンが来た頃の直江津」を掲載予定です。